

広報

ただみ

3
2017 月号
No. 562
平成29年3月10日

大雪像「熊本城」で披露された多喜雄ソーラン

今月の表紙

今月の表紙は、第45回只見ふるさとの雪まつり2日目のステージで披露された、JR東労組東京地本「よさこい隊」と天領只見仙獄太鼓保存会による共同演舞「多喜雄ソーラン」です。大雪像「熊本城」を背に、力強い太鼓の演奏と迫力のある踊りが披露され、会場からは惜しみない拍手が送られました。

その後、日本最高峰の津軽三味線演奏者である天地人の黒澤博幸さんの華麗な演奏も披露され、会場は大いに盛り上がりました。

<特集>

第45回只見ふるさとの雪まつり…2~5
町の公営塾「心志塾」開講…6~9

<<News&flash>>

ふるさとづくり大賞 ほか…10~11

<<町の話題>>

町民スキー大会 ほか…12~15

熊本復興応援!!

第45回 只見ふるさとでの雪まつり



第45回只見ふるさとでの雪まつりが2月11〜12日（10日前夜祭）にJR只見駅前広場で盛大に開催され、期間中は大雪となりましたが、約2万3千人の来場者が訪れました。

4年前の第41回雪まつりでは、平成23年の新潟・福島豪雨で被災した只見町を熊本県出身の歌手・八代亜紀さんがチャリティーとして訪れ、町を応援して頂きました。そして今回、「熊本復興応援」をテーマに掲げ、雪まつりが行われました。

熊本復興応援企画として大雪像には、高さ約14m、幅約30mの熊本城が作成され、そのステージで熊本県出身の八代亜紀さんや熊本県のキャラクターくまモンが会場を熱く盛り上げました。また、町観光まちづくり協会の売店では熊本県の特産品販売が行われ、お土産品として人気を集め、町内に作成された数多くの雪像には「くまモ



3



2



5



4



6

1、祈願花火大会(2日目) 2、ステージショーで「熊本復興へみんなの気持ちが温かい!」と話した八代亜紀さん 3、熊本城と熊本特産品 4、大人気だったくまモンステージ 5、昨年の雪不足から2年ぶりに電源開発(株)により作成された入場門 6、義援金を手渡す渡部課長(右)と受け取る堀課長(左)

ン」が並び、熊本復興を全町あげて応援しました。

そして、雪まつり会場内でも「熊本復興応援義援金」の募金活動が行われ、2日間で集められた義援金は総額10万円となり、雪まつり実行委員会は2月21日に熊本県東京事務所を訪れ、今回の熊本復興応援企画の報告とともに、皆様のご協力により集められた義援金を、渡部観光工商課長から堀敦博くまもとセールス課長へ手渡されました。堀課長は「義援金や熊本城など応援ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。



吉本芸人お笑いライブ
「大西ライオン」さん



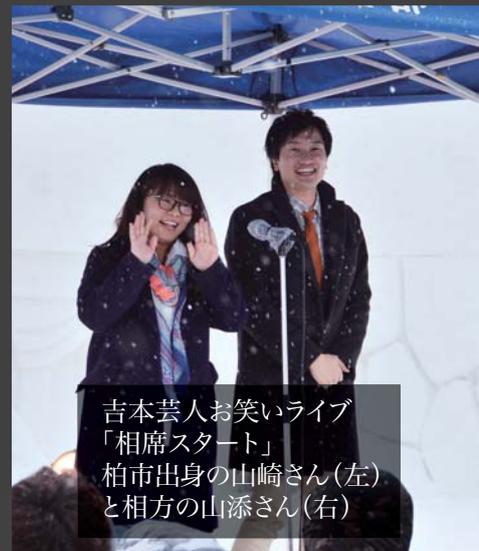
吉本芸人お笑いライブ「ライス」
母が只見町出身の関町さん(右)と相方の田所さん(左)



雪まつり4年連続参加
ダンス&サイレントコメディGABEZ



吉本芸人お笑いライブ
風船芸人「松下笑一」さん



吉本芸人お笑いライブ
「相席スタート」
柏市出身の山崎さん(左)
と相方の山添さん(右)

昨年6月11日に開催した「只見線縁結びライブ」において、六角精児バンドが初披露した「只見線のうた」のCDが完成し、2月11日に雪まつり会場場で販売開始となりました(詳しくはP13参照)。

八代亜紀さんのステージショーでは、CDの完成を喜ぶ六角さんの音声メッセージが披露され、八代さんが「おめでとうございます」と祝されていました。

また、よしもと芸人お笑いライブでは、キングオブコント2016で優勝した「ライス」のお二人が登場し、母の実家が只見町黒谷という関町知弘さんが、只見ネタを披露し会場は大いに盛り上がりました。

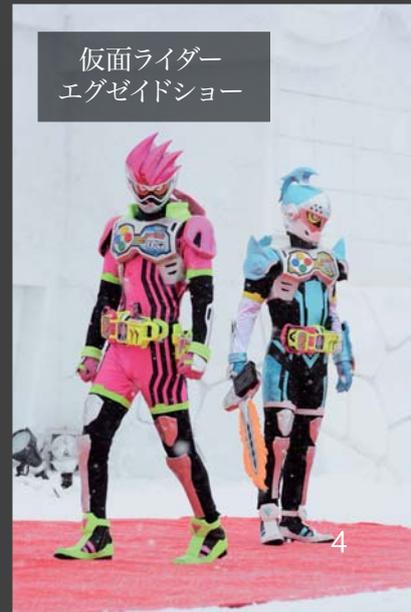
同お笑いライブでは、只見町とふるさと交流都市である千葉県柏市の出身という山崎ケイさんのコンビ「相席スタート」も登場し、「ライブステージ上でお笑いによる「ふるさと交流」が披露されました。そして2日間に渡り、郷土芸能発表やステージショー、



アコワングランプリ2016
優勝者「大竹涼華ライブ」



雪まつり5年連続参加
マジック漫才「あつけらかん」



仮面ライダー
エグゼイドショー



厄男21名による餅まき



厄払いの儀



「只見線のうた」のCDや
熊本県特産品の販売コーナー



ゲームイベント



雪中大神輿



初お披露目の町産米を使った焼酎製造「ねっか焼酎」の試飲を行った代表の脇坂さん(中)と、焼酎を美味しく味わう来場者の皆さん



「鷹匠」菊地さん
たちによる放鷹術



郷土芸能／大倉「八木節」

厄払いの儀、祈願花火大会など多くのイベントが催されたと共に、ゆきんこ市の多彩なメニューが、訪れた来場者をもてなしていました。
このように、第45回只見ふるさとの雪まつりは、開催に関わる全ての方々のご協力により大成功に終わることができました。皆様のご来場誠にありがとうございました。



台湾からの旅行者



みんなの笑顔



ブナりん雪像と
2ショット



カラオケ大会

特集 町の公営塾「心志塾」開講

自ら「心」を磨き、「志」を育み、地域を担う人材の育成

皆さんは「公営塾」という言葉を耳にしたことはあるでしょうか。

公営塾とは自治体が主体となり運営する塾のことで、只見町もこの公営塾を教育委員会が主体となり、「地方創生は教育から」の理念のもと、2月1日より「心志塾」という名前で開講しました。今回は、この心志塾が設立された目的や取組みなどを詳しくご紹介致します。

— 公営塾開講までの背景 —

過疎や少子化が進む只見町では、人口減少問題が課題となっております

(広報ただみ11月号No.558参照)。全国的に見ても人口減少は大きな社会問題となっており、福島県内においても、多くの県立高校が少子化により定員割れの状況が続き、分校化や廃校など高校の存続が危ぶまれています。

少子化問題は只見高校の存続にも影響しています。只見高校の定員は1学年70名となっておりますが、これに対し平成20年度の入学生は54名、平成25年

度41名、28年度36名と定員割れの状況が続いています(図1参照)。

県立高校においては、入学者が定員の半数以下(只見高校の場合は定員70名に対し半数は35名となる)の状態が3年連続で続くと分校化や生徒募集停止となり廃校となってしまいます。只見高校が分校化や廃校になれば、町に高校が無いことによる町外への進学転出が増加し、町の将来を担う人材の確保に影響すると予想されます。

また、町外の高校への進学しか選択肢がないことにより、家庭への経済負担



▲福島県立只見高等学校



夢起ゼミ担当
(株)プリマペンギノ
末崎 貴士さん

地域おこし協力隊
教科学習・奥会津
学習センター担当
松本 貴芳さん

地域おこし協力隊
教科学習担当
渡辺 啓太さん

地域おこし協力隊
教科学習担当
渡辺 史さん

▲心志塾の講師を務める皆さん



▲心志塾の教科学習で学ぶ只見高校生の皆さん



— 公営塾「心志塾」とは —

只見町内には高校生を対象にした学習塾がありません。そこで教育委員会では、只見高校生を対象にした塾をつくることでデメリットを補い、逆に只見高校に入学しなければ受けられないメリットとして魅力化を図りました。

塾の名前は「心志塾」として、昨年9月20日より地域の課題をテ

マに学ぶ課題解決型学習「夢起ゼミ」が始まりました。そして、今年2月1日からは、学力向上を支援する「教科学習」が新たに追加され、この2本柱の学習で生徒の学習意欲を導きます。

3月31日まで在校生は無料体験期間となっており、4月1日より有料(月額3千円)となります。

心志塾の学習や雰囲気を理解する良い機会になりますので、無料体験期間中にぜひご利用下さい。

— 塾講師を地域おこし

協力隊が担う —

塾の講師は予備校講師の経験や大学で専門科目を専攻した3名の協力隊の皆さんが担当し、生徒達を全面的にバックアップします。

— 2本柱の学習 その1

「教科学習」とは —

教科学習は、平日の午後4時から午後8時35分まで行う為、部活動後の生徒にも対応しています。

生徒の目標に合わせた個別学習計画を講師と共に立て、高校の先生

特集 町の公営塾

▼(図1)過去10年間の只見高校入学生の推移

(人)

年度種別	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
留学生	4	5	9	10	7	7	15	15	16	14
町内生	44	49	38	34	37	27	26	26	24	22
計	48	54	47	44	44	34	41	41	40	36

▼(図2)統合した只見中学校過去10年間の生徒推移

(人)

年度学年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1年	46	46	34	38	40	37	41	40	32	30
2年	39	46	46	34	39	39	36	40	40	31
3年	55	39	46	45	36	38	38	36	40	40
計	140	131	126	117	115	114	115	116	112	101



が増大し、高校進学率の低下が懸念されます。

—只見中一年生は三〇名—

一方、町の中学校を見ると、少子化の影響により平成19年度には、3地区の中学校(只見中、朝日中、明和中)が統合し、新生「只見中学校」として旧朝日中学校に設置されました。統合当時の全校生徒は140名ですが、それから10年後の現在(平成28年度)では全校生徒101名で1年生30名、2年生31名、3年生40名となっており、この10年間で約40名が減少していることとなります(図2参照)。このことにより、只見高校の定員1学年70名の基準と、現在の只見中学校1年生の生徒数30名を比較すると、仮に1年生全員が只見高校へ進学したとしても定員の半数割れとなり、町外からの進学者5名が必要となります。

—奥会津学習センターを増設—

こうした事態を懸念して町では、平成14年度から「山村教育留学制度」を開始し、全国から只見高校へ進学する留学生を受け入れてきました。現在では只見高校入学生の約4割が留学生

となっており、只見高校存続の重要な役割を担っています。留学生の受け入れには安心して学校生活がおくれる生活拠点として、大きな受入容量が必要であり現在、平成29年4月開始に向けて留学生の寮「奥会津学習センター」の増設工事が進められています。これにより留学生の受入人数が40名から60名となり只見高校存続の為に最低限必要な生徒数のうち、半数の受け入れが可能となります。

—公営塾で地域人材育成—

しかし、只見高校の存続の為には留学生だけに頼るわけにはいきません。只見高校入学生の殆どを占める町内の中学生が、只見高校へ入学したいと思っても、必要な魅力がありません。そこで町では、只見高校の魅力を高めて町内外からの入学者増につなげ、将来の地域を担う人材を育成するために只見高校生を対象にした「公営塾」の運営に乗り出すことを決定しました。

この公営塾は、3年前から先進地の視察や有識者の指導により準備を行い、山村教育留学制度と共に教育振興対策の一つとして進めてきました。

— 心志塾の概要 —

◆利用料金

月額3,000円

※平成29年3月31日までは無料体験期間
(在校生)

◆場所

只見振興センター(旧只見中学校)2階
スタディルーム

◆対象

只見高校生

◆時間

①教科学習

- ・平日、午後4時～午後8時35分まで
(冬期時間)
- ・部活動帰りでも好きな時間から参加が可能です
- ・夢起ゼミ開催日はお休みとなります

②夢起ゼミ

- ・月2回程度、午後7時～午後9時まで
- ・教科学習はお休みとなります



◆学習の内容

心志塾では「教科学習」と「夢起ゼミ」の2本柱で学習を行います。

①教科学習

- ・各自のレベル・目標にあった学習計画を講師と共に作成
- ・計画に沿った自立学習
- ・分からない問題は講師が徹底指導
- ・只見で起業するための基礎力アップ

②夢起ゼミ

- ・夢起ゼミは「自分の考えを答えにする」方法を講義と実践で学ぶ体験型学習
- ・講師は、講演会など全国で活躍し高い満足度を獲得している(株)プリマペンギノの末崎貴士さんが務める
- ・地域の課題解決に果敢に挑戦する地域創生力を育成します
- ・自らの人間性を高め、将来の目標や夢と一緒に考えます

《Voice》

只見高校2年生

目黒 史也さん



親の勧めや、先輩が学校の先生と心志塾の指導により志望校に合格したことなどが刺激になり、今回参加しました。

将来の夢は放射線技師になることで、塾では苦手科目の英語を克服したいです。

ソフトテニスの部活帰りに利用できるのも、部活と勉強の両立ができ安心です!

《Voice》

只見高校3年生

牧原 さくらさん



私は昨年から心志塾のゼミで大学AO入試のプレゼンやレポートのポイントを教わりました。試験3ヶ月前から12回の講座を受けコツが分かるようになり、結果志望校の東洋大学国際観光学科に合格しました。後輩の皆さんには、塾に来て後悔はしないと思うのでまずは1回来て欲しいです!

— 2本柱の学習 その2 —

「夢起ゼミ」とは

体験型の夢起ゼミは月に2回開き、ゼミ講師は東京の経営コンサルタントで塾講師も務める末崎貴士さんが担当し、地域の課題などをテーマに学び、社会人として役立つ「考える力・表現する力・行動する力・コミュニケーション能力」を豊かにし、地域創生力を育成します。

— 入講生の募集 —

町教育委員会では、「心志塾」へ参加したい只見高校生を募集しています。只見町は本気で只見高校と生徒をバックアップしますので、無料期間中にご利用下さい。

◆お問合せ先

教育委員会 学校教育係

☎0241(82)5320

只見町が地方自治体表彰・総務大臣賞を受賞

2月4日、総務省が主催する「平成28年度ふるさとづくり大賞」の表彰式が都市センターホテル（東京都千代田区平河町）で行われ、只見町が「地方自治体表彰・総務大臣賞」に選ばれ、菅家町長など町関係者が出席しました。

本表彰は、活力ある地域社会づくりに尽力している全国の団体、個人を称えるもので、昭和58年から実施されており、今回只見町が受賞したポイントとは下記のとおりで、地域を誇りに思う長年の住民活動が評価されました。

表彰式では、菅家町長が富樫博之の総務大臣政務官より表彰状を受けとり、



▲福島県内から選ばれた只見町・菅家町長(左)と、「団体表彰」を受賞した檜枝岐歌舞伎・千葉之家花駒座の星座長(右)

「今回の受賞は大変名誉なこと、今後も積極的なまちづくりを進めていきたい」と、抱負を語りました。

「只見町の受賞内容」

◆表彰

地方自治体表彰・総務大臣賞

◆まちづくりの概要

只見町は国内有数の豪雪地帯であり、過疎や少子高齢化の問題に直面している。しかし、学術調査においてブナ林など豊かな自然が世界遺産級の価値であることが分かり、「自然首都・只見」宣言を掲げて地域振興を進め、平成26年には「只見エネスコエコパーク」に登録されるなど継続した町づくりを進めてきた。

◆評価された点

ブナを大切にしている長年の活動と、人と自然が共生するモデルとして世界に認められたことなどが評価された。

国立歴史民俗博物館の共同研究会が開催

国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）が主催する研究会が2月4～5日、只見町を会場に開かれました。「地域における歴史文化研究拠点の構築」というテーマのもと全国から博物館関係者など14名が参加しました。

この研究は、日本の地域社会の変動や東日本大震災などの災害により歴史文化の継承が途絶えることを危惧し、次世代へ歴史と文化を継承していくためのシステム構築を目的としています。只見町は、新潟・福島豪雨災害後にエネスコエコパークに登録された経緯や「人と自然との共生」を掲げるまちづくり、そして豊富な民具や文化財



▲2月5日に季の郷湯ら里で行われた講演会及び意見交換会

の調査・保存・活用などが研究テーマと合致することから調査対象地に選ばれたものです。

研究会当日は、ただみブナと川のみユージアムとふるさと館田子倉を巡り、旧朝日公民館に収蔵されている民具の見学が行われました。翌日は、講演会や意見交換会が行われ、参加者から活発な質問が飛び交いました。今年6月25日には「公開シンポジウム」を湯ら里で開催することを計画しています。

只見町文化財調査委員

新国 勇氏

「只見町の地域文化」

只見町総合政策課

中野 陽介氏

「エネスコエコパーク

と町の取組み」

只見町教育委員会

渡部 賢史氏

「町の社会教育

施設の現状」

東洋大学非常勤講師

久野 俊彦氏

「中世書物の郷只見」



戊辰150周年に向け

町内で実行委員会を設立

平成30年の戊辰150周年に向けて只見町では2月3日、町内の歴史文化団体・観光団体などと「奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会」を設立しました。只見町における戊辰の象徴的人物「河井継之助」を中心に、歴史的意義を再確認し観光客の誘致や歴史文化の振興につなげます。

平成29年度はプレ事業として、案内標柱・ガイドブックなどを作成し啓発活動を中心に、本番の平成30年度は講演会・シンポジウムなどを計画しています。

役場で行った実行委員会は11名が出席し、会長に会津只見史談会の飯塚恒夫会長が就任され、来年度からの計画を確認されました。



▲会津只見史談会、河井継之助記念館運営委員会、会津ただみ振興公社、町観光まちづくり協会、町観光商工課、町教育委員会により設立された実行委員会

海洋教育の取組み

只見小学校在東京大学で発表

先月締結した只見町と東京大学の海洋教育に関する協定(広報ただみ2月号No.561参照)を受け、2月5日に東京大学で開かれた「第4回全国海洋教育サミット」に、齋藤教育長と只見小学校5年生代表の鈴木詠大さん、鈴木莉子さんが参加しました。

サミットでは、齋藤教育長が町の海洋教育の取組みについてシンポジウムで発表し、ポスターセッションでは、只見小学校代表者2名が「海はブナの友達」というテーマで、他の発表者には無い山間部ならではの視点で発表し、来場者の注目を集めました。

児童の素晴らしい発表から、今後の取組への期待が膨らみます。



▲ユネスコエコパークに登録された只見の自然について発表した只見小の鈴木詠大さん(左)と鈴木莉子さん(右)

郵便局の地域ネットワークを活用

郵便局と只見町が協定を結ぶ

郵便局の地域ネットワークを町の防災や見守り活動に活かす為、只見町と町内3郵便局及び会津若松郵便局との間で協定を結ぶ締結式が2月24日、町役場で行われ関係者9名が出席しました。

この協定は、局員が配達や営業の際に異変を察知した場合、町へ連絡することとしており、災害発生時の対応、平常時における高齢者等への見守り活動、道路損傷や不法投棄発見時の対応に関するなどが盛り込まれていきます。既に町関係各課と郵便局で各々締結していたものを、今回改めて一本化したものです。協定式で菅家町長は「手が届きにくい部分の連携を深めていきたい」と述べました。



▲締結した菅家町長(中左)と町内郵便局代表の渡部仁一(只見郵便局長(中右)と愛川雄一郎(会津若松郵便局総務部長(左)と吉津文裕(朝日郵便局長(右))

明和公民館まつり30回記念

「役重真喜子」講演会を開催

2月19日、今年で明和公民館まつりの開催30回目を記念した講演会が明和振興センターを会場に開かれ、約50名が参加しました。

開催にあたり、馬場幸人明和公民館まつり実行委員長から挨拶が述べられ、その後役重真喜子さんを講師に迎え、「ヨメより先に牛がきた」をテーマに講演会が行われました。役重さんは、東大法学部を卒業後、農水省に入省したキャリアでしたが、研修で訪れた田舎町(岩手県東和町)に魅せられて移住されました。その際の移住する側や受入れる側、地域のルールや地域に馴染むまでの苦労など様々な角度から話をされた花巻市コミュニティアドバイザーの役重さん。づくりのポイントなど伝えられました。



▲記念講演会で移住について様々な角度から話をされた花巻市コミュニティアドバイザーの役重さん

選手の熱い戦いに大声援

第55回只見町民スキー大会



▲アルペン中学男子の部で優勝した新國太陽さん(只見中1)

▶クロカントリー競技で優勝した明和小Aチーム3走の橋川綾乃さん



2月19日、今回で第55回目となる「町民スキー大会」が只見スキー場で開催され、小学生から大人まで約120名の選手が参加しました。

大会ではアルペン大回転、スノーボード大回転、クロスカントリー競技の個人・リレー種目が行われ、選手たちは応援にかけつけた保護者の声援を受けベストをつくしました。

大会成績は次のとおりです。

競技結果(敬称略)

◆アルペン大回転

未就学児の部

- ① 齋藤充希(小林) ② 五十嵐千紘(只見) ③ 山内珠樹(梁取)

小学生(男子1年の部)

- ① 目黒純乃介(明和小) ② 山内丈大(明和小) ③ 岩佐滯乃(朝日小)

〈女子1年の部〉

- ① 齋藤寧々(朝日小) ② 山内悠愛(明和小) ③ 矢沢栞(只見小)

〈男子2年の部〉

- ① 五十嵐悠陽(只見小) ② 船木翔空(朝日小) ③ 五十嵐蓮(朝日小)

〈女子2年の部〉

- ① 小森佑衣奈(只見小) ② 目黒夏穂(只見小) ③ 齋藤有希(明和小)

〈男子3年の部〉

- ① 矢沢亮太(只見小) ② 菅家岳人(朝日小) ③ 矢沢魁吏(只見小)

〈女子3年の部〉

- ① 大束咲来(明和小) ② 吉津知巴(朝日小) ③ 佐藤優妃(朝日小)

〈男子4年の部〉

- ① 目黒咲翔(朝日小) ② 目黒琳太郎(明和小) ③ 舟木悠真(明和小)

〈女子4年の部〉

- ① 岩佐乃杏(朝日小) ② 飯塚妃(明和小)

〈男子5年の部〉

- ① 羽染治輝(只見小) ② 目黒元基(只見小) ③ 三瓶創大(朝日小)

〈女子5年の部〉

- ① 鈴木莉子(只見小) ② 五十嵐陽菜(只見小)

〈男子6年の部〉

- ① 山内大暉(明和小) ② 星竜之介(朝日小) ③ 山内友斗(明和小)

〈女子6年の部〉

- ① 鈴木来菜(只見小) ② 目黒希朝日小) ③ 吉津晴香(朝日小)

中学生(男子の部)

- ① 新國太陽(只見中) ② 鈴木涼(只見中)

一般(男子1部の部)

- ① 新國真也(只見) ② 五十嵐和弘(只見) ③ 目黒秀成(黒谷)

〈男子2部の部〉

- ① 目黒光成(梁取) ② 五十嵐利明(塩ノ岐)

〈女子2部の部〉

- ① 五十嵐佳子(只見)

◆スノーボード大回転

〈高校・一般男子の部〉

- ① 山内政邦(梁取)

〈高校・一般女子の部〉

- ① 矢沢由唯(只見)

◆クロスカントリー(クラシカル個人)

中学生(男子の部)

- ① 大竹力(只見中) ② 五十嵐涼凱(只見中) ③ 渡部駿(只見中)

中学生(女子の部)

- ① 馬場菊(只見中) ② 布沢翔月(只見中)

◆クロスカントリー(フリー個人)

小学生(男子4年の部)

- ① 酒井駿(明和小) ② 新國蒼空(只見小) ③ 新國響(只見小)

〈女子4年の部〉

- ① 松永佳音(只見小) ② 山内ひかり(明和小)

〈男子5年の部〉

- ① 鈴木詠大(只見小) ② 菊地新大(明和小)

〈女子5年の部〉

- ① 梁取もも(明和小) ② 三瓶心乃花(明和小) ③ 山内美紅(朝日小)

〈男子6年の部〉

- ① 菅野慧汰(明和小) ② 酒井大輔(朝日小)

〈女子6年の部〉

- ① 平野結菜(明和小)

中学生(男子の部)

- ① 五十嵐彪斗(只見中) ② 山内浩希(只見中) ③ 吉津隼馬(只見中)

〈女子の部〉

- ① 目黒楓華(只見中) ② 鈴木美羽(只見中) ③ 馬場遊茶(只見中)

◆距離(リレー)

小学生(男子の部)

- ① 明和小A ② 朝日小1 ③ 只見小(女子の部)

- ① 明和小A ② 朝日小1 ③ 只見小(男子の部)

中学生(男子の部)

- ① 只見中B ② 只見中A ③ 只見中A ④ 只見中B

町内唯一！男性の百歳

渡部正衛さん(小川)に 知事賀寿

小川地区の渡部正衛さんが2月21日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族の方同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。

贈呈式では、小谷尚克県南会津保健福祉事務所長から知事賀寿状と会津塗木杯が贈呈され、菅家町長や出席者から祝い金などが贈られると、長男の時雄さんが「父のためにありがとうございました」と謝辞を述べました。町内で唯一男性の百歳である正衛さんの長寿の秘訣は、好き嫌いしないで食べることだそうです。



▲賀寿状を手にする渡部正衛さん(中央)とご家族の皆さん

六角精児バンド、町へ曲提供

「只見線のうた」CD発売

ローカル列車ファンとして知られる俳優・六角精児さんのバンドの曲「只見線のうた」がCDになり、2月11日の只見ふるさと雪まつりで販売されました。

昨年6月にJR只見駅前で開催された「只見線縁結びライブ」で六角精児バンドが初披露したこの曲は、六角さんのご厚意により曲が町に提供され、多くの人に聴いてもらおうとJR只見線利用促進実行委員会がCD化しました。CDは1枚1,000円(税込)で、只見駅構内にある町観光まちづくり協会の売店や自然首都・只見なびのサイトから通信販売で購入できます。また、各種の音楽配信サイト(有料)からもダウンロードが可能で、CD販売及び音楽配信サイトの売上の一部がJR只見線の利用促進事業に充てられます。



▲2月11日より販売開始となった「只見線のうた」

只見町ブナセンター

座談会「只見町の編む伝統を聞く」

1月22日にただみ・ブナと川のミュージアムにおいて、編み組み細工に取り組まれている町の方々との座談会が開催され、町内を中心に22名が参加しました。話し手には、齋藤文良さん(亀岡)、馬場敏郎さん(塩ノ岐)、佐藤恒雄さん(叶津)、酒井洋子さん(下福井)、三瓶こずえさん(叶津)を迎え、編み始めたきっかけや編んだザル・カゴの使い道などが語られ、参加者からは多くの質問が飛び交い会場は盛り上がりました。最後に話し手の皆さんから「民芸品作りの仲間を増やして町を盛り上げたい」、「後継者の育成のために惜しみなく技術を伝えたい」との意見がでるなど、伝統的な技術を伝えることの重要性が確認でき、充実した座談会となりました。



▲座談会に参加した話し手の皆さん

ひなまつりにちなんだ料理づくりに挑戦! 「ひなまつりパーティー」開催

2月25日、只見振興センターでひなまつりパーティーが開かれ、町内の子どもから大人まで約10名が参加し、ひなまつりにちなんだ料理づくりを行いました。

料理づくりでは、カップ寿司や3色じゃが餅、オニオングラタンスープ作りが行われ、子ども達は大人と一緒に、カップ寿司を海苔やたまごで好きな形にくり抜き、ひなまつりらしいかわいい料理を完成させました。



▲(写真/参加した子ども達)家庭で簡単にできるメニューにより参加者から喜ばれました

15名が新たな一歩 「山村教育留学生13期生」送別式

只見高校卒業式の前日、2月28日に只見町商工会で「只見町山村教育留学生第13期生」の送別式が行われました。

送別式では、留学生一人ひとりが教育関係者や保護者などの前で「只見町は第2の故郷です」、「将来教師になって只見町で教えたい」、「只見町で就職が決まり、これから町に貢献したい」など3年間の感謝の気持ちや抱負などが発表され、それぞれの道へ歩みだしました。



▲親元を離れ、3年間只見町で学んだ留学生13名の皆さん



ななお
星 七生くん
(只見)



ここな
星 心陽さん
(大倉)



あきな
星 瑛陽さん
(大倉)



しお
三瓶 葉さん
(樺戸)



みつよし
吉津 光祥くん
(長浜)



みさき
矢沢 心咲さん
(二軒在家)



ゆいと
佐藤 優依斗くん
(只見)

虫歯のない子



(2月7日
3歳児健診)

蒲生集会施設「雪の里」建築20周年記念 盛大に節分の豆まき開催！

2月3日、蒲生集落の節分の豆まきが集会施設「雪の里」で盛大に開催され、高齢者から子どもまで35名が集い、会場では「鬼は外、福は内」「こっちまっきゃれー」の大声で賑わいました。今年の節分は蒲生集会施設「雪の里」建築20周年を記念して、集落運営支援交付金を利用して開催され、豆まきの他に地元語り部による昔話や、絵本の読み聞かせ、更に「かたくりの一生」の紙芝居などが行われました。



▲(写真/紙芝居を真剣に聞き入る参加者の皆さん)最後にビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がりました

小林地区の伝統行事「小林早乙女おどり」 家内安全と豊作を祈願

小林地区の伝統行事「小林早乙女おどり」が2月4日に行われ、今年は小林新区長の梁取哲朗さん宅をかわきりに、班の中で申込があった家や新築住宅など全5軒を回り、今年1年の家内安全や豊作を祈願しました。

小林早乙女保存会は昭和35年に結成され、400年以上続く伝統の継承などの功績が認められ、昨年4月に会津ユネスコ協会の「第9回地域文化功労者」表彰を受賞しました。



▲新区長の梁取哲朗さん宅で行われた早乙女おどり

布沢地区の「親切むら一番」 宝くじ助成で除雪機を整備

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用し、布沢地区の「親切むら一番」が除雪機の整備を行いました。

親切むら一番は、地域の少子高齢化により除雪作業困難者など弱者を助ける為に今年度除雪機を整備し、冬の除雪作業に活用しています。地域住民が安心して暮らせる集落づくりとして、今後益々の活躍が期待されます。



▲地域住民の暮らしを守る除雪作業

シェルナツハの会とハートネットふくしま 除雪ボランティア20年目

2月4～5日、NPO法人ハートネットふくしま(郡山市)が企画する除雪ボランティアが只見町内で行われ、只見町シェルナツハの会が全国から参加したボランティア10名を受け入れ、作業を行いました。

このボランティア活動は今年で20年目を迎え、参加者は高齢者宅などを対象に除雪作業を行い、夜には参加者と地域住民との交流会が行われ節目の「20年目」を祝いました。



▲除雪作業を行ったボランティアの皆さん

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 山内 健士朗



「退任の挨拶」

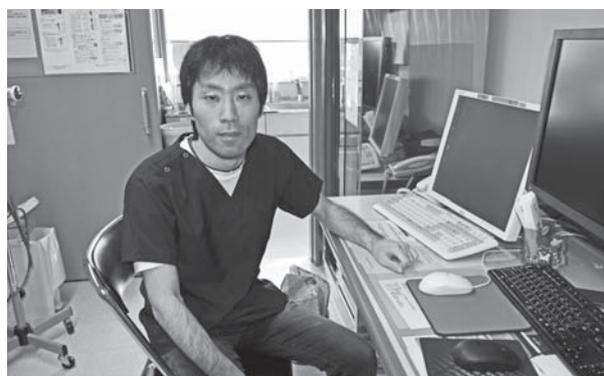
皆さんこんにちは。今年の寒さもそろそろ穏やかになってきましたが、昨年と比べて雪も多く、本物の只見の冬を経験させていただきました。今回は恐縮ながら、自分の退任の挨拶をさせていただきます。ありがとうございます。

4月から私は相馬市へ移動となり、3月いっぱいだけ只見町を去ることとなりました。福島に来て4年になりますが、この只見町に住み診療所を中心にして皆さんと関わることができて大変嬉しく思っています。多くのことを経験、勉強させていただきました。迷惑をかけたこともあるとは思いますが、温かく迎えてくださった皆様に心から感謝いたします。

今度の赴任先はだいぶ遠方になりますが、同じ県内にいるのでまた遊びに来ることもあ

ります。

最後になりますが、皆さん、お身体にお気をつけて元気にお過ごしください。2年間お付き合いいただき、誠にありがとうございました。また、皆様と元気にお会いできるのを楽しみにしております。



▲2年間町の医療を支えた山内健士朗先生

地域おこし協力隊として vol.28

空き家活用促進隊
大竹 康平



「大学休んで只見に住んでみた」

4月に越してきてから、あっという間に1年が経とうとしている。明和振興センターに勤め、集落の名前や人を覚えながら、空き家を調べた。役場で働くのは初めてだし、布沢しか知らないし、難しかった。そしてついに「空き家バンク」のホームページが動き出しそうだ。

冬は雪が多かったが、それもまた風情があって良い。只見の人たちは「雪が降らなきゃいいとこなんだがや〜」と言う。「雪すげえべ?」と何度訊かれたことか。けど、「雪が降らなきゃ只見じゃない」ってみなさんが思っていることも私は知っている。

「たくさんまわる、話す、食べる、笑う」という

スローガンの下、目標の「空き家バンク設置」と「友達1,000人」はどちらも達成できた。只見は自然も、文化も、食べ物も、人も素晴らしいが、「友達がいっぱいいる只見」をますます好きになった。

私みたいなよそ者がこれからたくさん来るかもしれないけど、只見を作るのは只見の人たち。既に活動している人も、これから立ち上がる人も、あんまりやっちゃくねえ人も、少しずつ少しずつ、すばらしい只見を護り、そして「新たな只見」も作り上げていってほしい。

4月から大学生。これからも遊びにくっから、声かけてけやれ!

只見ユネスコエコパークがめざすもの⑤

— 学術調査をすすめる —

今月号からユネスコエコパークの三つ目の活動目標である「学術調査研究と人材育成」について紹介します。これは私たちが生きていく上で基盤となる自然環境を守るためであり、その自然環境を絶やすことなく賢く活用するための科学的な根拠や方法を調べ、そうしたことを実践できる人を育てようという取り組みです。

「自然首都・只見」学術調査研究助成事業

この事業は、只見町の生態系、生物多様性の保全、再生および活用に関する基礎研究から応用研究、あるいは歴史、民俗の保存、継承に関する調査研究、そしてそれらに関するシンポジウム、研究会等を開催する研究者や研究グループを助成する制度です。このような助成事業を行う自治体は全国でも珍しいものです。平成二四年度から開始され、研究テーマはこれまでに二四件のほ

ります。申請者も、北海道大学、新潟大学、首都大学東京、横浜国立大学、信州大学と多様で、それは只見町が調査地としてすぐれているからとも言えます。その成果として、タダミハコネサンショウウオという新種の両生類が発見されたことがあげられます。それは只見町の自然環境と生物多様性の豊かさが改めて証明されたともいえるでしょう。ほ

かにも只見町の自然や民俗に関する基礎研究が実施され、着実に成果が蓄積されています。研究結果の発表会は、町民向けとして年度末に行っていますが、学会や学術雑誌でも発表されています。

このようにして只見町の学術情報が全国に向けて発信されるとき、科学の発展に資することも期待されています。

自然環境基礎調査事業

前述の助成事業はそれぞれの研究者が専門としているテーマで調査研究が実施されていますが、自然環境基礎調査は只見町が抱えている課題を調査研究する事業です。近年、夜間に強力なライトを当てて大量の昆虫が捕獲されています。しかし、只見町は広大な面積を有し、その九〇%以上は山林原野であり、容易に人が近づけない自然環境をもっています。そこには、どのような昆虫が生息しているか未解明のままです。このような状況の中、町内の昆虫を保全する上で、基礎的な資料を得ることが緊急の課題となっています。そこで、平成二六年度から森林総合研究所研究員（当時）の榎原寛さんを中心として、町内の昆虫相について調査しました。調査は二年間



▲福島県初記録のオオキノコモンチビ(♂)、体長3ミリ

設置し、捕獲した昆虫を同定しました。この結果、只見町に生息するカミキリムシ、オオキノコムシ、コガネムシ、クワガタなどの昆虫の目録が完成しました。これには福島県や会津地方でも未記録の昆虫も発見され、良好なブナ林を指標する種も確認されています。これらの研究成果は、只見町ブナセンター紀要の五号、六号の中で昆虫のカラー写真つきで詳しく報告されています。

調査研究成果の活用

調査研究成果が今すぐに私たちの身近で役に立つことは少ないかもしれませんが、しかし、只見町には町史編さん事業をはじめとして長年にわたり調査研究が続けられてきました。こうした科学的な評価の積み重ねが、ユネスコエコパークに登録され、国際のな評価へとつながったのです。また、現在の対象を調べ、記録を残しておくことは、将来を生きる世代のためにも重要です。只見町には長年取り組んできた調査の成果や資料が多量にありますが、それらを保存、活用できるようにアーカイブの整備も必要となっています。



▲学術調査発表会の様子



▲新種として確認されたタダミハコネサンショウウオ



町民文芸

只見短歌会

一月詠草

大塚栄一

指導

元日は人工透析休みにて夫と連れ立てばうから喜ぶ

古川 英子

山峡の里の秋の日いと寂し日の出は遅く暮るるは早き

小倉キミ子

息静め歌留多をとるに幼子と手が重なれば払ふもならず

目黒 富子

母の名を一度も呼ばず三か月母待ちし孫はみどり児を撫づ

新国由紀子

久びさにグループホームの孫問へば矢継ぎ早にて話止まらず

馬場 八智

病院の待合室に久に逢ふ同級生を誰ぞと問ふも

渡部ゆき子

吹き降りの豪雪の中歩み来て一足ごとに身をかたくする

関谷登美子

正月に団子さし置く玄閼に早も鳥きて啄みてをり

渡部ヨリ子

日に三度施設の姉を養ふる食事間近く落着かずをり

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

二月例会

目黒十一

指導

お茶啜る隣人二人春障子
待春や妻と登りし無言坂

修 一

立春や来るには来たが温度計
吹雪かれてかしく雑木の声を聞く

洋 子

凍餅の並べられてる星の下
一礼し仕事始めの薪を割る

一 穂

身にしむや術なく一人また逝けり
巧ちかけし納屋の軒下寒雀

味代子

赤き緒の標ありぬ杉林
立春や庭に降り立つ石敲

敦 子

体温計しかとしまつて柚子湯かな
冬ごもり墨絵の里に住み八十路

弘 子

雪解晴田上五尺の雪えくぼ
飴煮つまる馬眼魚眼や冴え返る

吉 児

人と会い人と話して寒明くる
久闊や句座のにぎわす桜餅

恒 夫

復旧の記事あり鉄路に雪解来る
しまき避け門借りたるか鳥の跡

幸 生

溜池にさぎなみ生れり初菫
一畝は新しき仲よ水雲和え

礼

鬼は外園児の声も弾みたり
辛抱の賜杯と綱の花が咲き

信

一滴に蒲生岳容れ軒氷柱
仏壇の花器の冷たき一周忌

順 子

粕汁やそつとほぐれて鮭の骨
歌留多取り負けぬ気負いの五歳の子

都

今月の お知らせ

試験

国家公務員「国税専門官採用試験(大卒程度)」のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

●受験資格

- 昭和62年4月2日から平成8年4月1日生まれの者
- 平成8年4月2日以降生まれの者で次に掲げる者
- 大学を卒業した者及び平成30年3月までに大学を卒業する見込みの者
- 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

●受験申込受付期間

平成29年3月31日(金)から

電話番号

総合政策課		
地域振興係	財政係	☎82-5220
総務課		
総務係	職員係	☎82-5210
町民生活課		
税務係		☎82-5110
町民係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		☎84-7010
農林振興課		
農政係	林政係	☎82-5230
観光商工課		
観光係	商工係	☎82-5240
環境整備課		
地域整備係		☎82-5270
生活環境係		☎82-5280
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
訪問看護ステーション		☎84-2130
こぶし苑		☎84-2101
只見振興センター		☎82-2141
朝日振興センター		☎84-2111
明和振興センター		☎86-2111

4月12日(水)まで

●受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。

国家公務員試験採用情報

NAV I

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>

なお、インターネットで申し込めない場合は、受験申込受付期間前に仙台国税局人事第二課試験研修係へご連絡下さい。

●第1次試験日

平成29年6月11日(日)

▼試験に関するお問合せ先

仙台国税局 人事第二課
試験研修係

☎022(263)1111
内線3236

国家公務員採用試験 のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施致します。なお、申込はインターネットにより行って下さい。

●総合職試験

(院卒者試験・大卒程度試験)

- ・申込受付期間(インターネット)
3月31日(金)午前9時～
4月10日(月)【受信有効】
- ・第1次試験日
4月30日(日)

●一般職試験(大卒程度試験)

- ・申込受付期間(インターネット)
4月7日(金)午前9時～
4月19日(水)【受信有効】
- ・第1次試験日
6月18日(日)

●一般職試験(高卒者試験)

- ・申込受付期間(インターネット)

6月19日(月)午前9時～
6月28日(水)【受信有効】

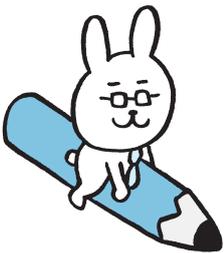
●第1次試験日

9月3日(日)

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容は、人事院ホームページ又は左記までお問合せ下さい。

▼お問合せ先

- 人事院東北事務局
第二課試験係
☎022(221)2022
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>
- 人事院ホームページ
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>



税 今月の納期

- 3月27日までに
納めましょう
- 農集排使用料(3月分)

只見おもしろ学クイズ

(問題)

つる細工の材料としてマタタビがありますが、マタタビのつるを採る時期で適しているのは次のどれですか。

- ①春～夏
- ②夏～秋
- ③秋～冬
- ④冬～春

(答えは21ページです)



フナリン

只見町地域包括支援センターより 認知症予防講演会のお知らせ

下記の日程で、認知症予防の講演会を行いますので、ご参加ください。

- と き / 3月25日(土)午後2時～3時30分
- と ころ / 季の郷 湯ら里 ゆきつばき
- 内 容 / 認知症を予防するために日常生活で取り入れられることや、認知症を早期に発見するための方法などについて
- 講 師 / 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座
臨床心理士 加藤 善和 先生

《バス時刻表》

明和方面	迎 ※国道沿いでお待ちください。				送
	布沢(大田発)	13:00	梁取公民館	13:05	※ 講演会 終了次第 送迎します。
	坂田公民館	13:20	塩ノ岐	13:15	
	大倉	13:30	二軒在家	13:30	
	湯ら里	13:35	小林	13:40	
		湯ら里	13:55		

只見方面	迎 ※国道、町道沿いにある程度の人数でお集まりの上、お待ちください。					送	
	塩沢 発	12:55	樋戸	13:30	黒谷入発	13:45	※ 講演会 終了次第 送迎します。
	役場前	13:15	小川	13:40	湯ら里着	13:55	
	館ノ川	13:20	黒谷	13:45			
黒沢	13:25	湯ら里着	13:55				

- ◆バスをご利用される方は、停車箇所でご待ちください。
- ◆利用される際は事前に只見町地域包括支援センターへご連絡下さい。
- ◆バス時刻は、若干の変動がありますのでご了承ください。
- ◆詳しい内容は只見町地域包括支援センターまでお問い合わせください。

《お問合せ》

保健福祉課内、
地域包括支援センター
☎0241-84-7005

町長スケジュール (2月分)

- | | |
|--|--|
| 1日 只見町議会2月会議、議会全員協議会 | 15日 補正予算町長査定 |
| 2日 在京福島県経済人の集い(東京) | 16日 南会津建設事務所との連絡調整会議(南会津町) |
| 4日 ふるさとづくり大賞表彰式(東京) | 17日 只見高校振興対策協議会総会・懇談会 |
| 6日 当初予算町長査定(～7日)、月刊タクティクス取材 | 19日 町民スキー大会、会津かねやま雪まつり(金山町) |
| 8日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、
福島県土地連南会津支部総会
南会津地方土地開発公社理事会、
会津高原ふるさと推進協議会理事会
南会津地方町村会総会、
南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)、
南郷トマト生産組合10億円達成祝賀会(南会津町) | 20日 魚沼市長表敬訪問(魚沼市) |
| 9日 只見金山昭和県道改修促進期成同盟会総会(金山町)
JR只見線復興推進会議(福島市) | 21日 渡部正衛さん百歳賀寿、福島財務事務所長来庁、
南会津地方町村会・議長会懇談会(福島市) |
| 10日 雪まつり大雪像引渡し、柏市との懇談会 | 22日 福島県町村会定期総会、福島県国保連合会通常総会、
市町村長のための防災・危機管理セミナー(福島市) |
| 11日 只見ふるさとの雪まつり(～12日) | 23日 只見町議会2月第2回会議、
奥会津5町村活性化協議会定例総会、
只見川電源流域振興協議会定期総会・懇親会 |
| 13日 総務厚生、経済文教両委員会
極上の会津プロジェクト協議会全体報告会・
交流会(会津若松市) | 24日 南会津建設事務所事業懇談会、
郵便ネットワークを活用した協定締結式、議案検討庁議 |
| 14日 只見町農業再生協議会 | 27日 只見町議会議員 故新國秀一氏葬儀 |
| | 28日 ユネスコエコパーク推進協議会、
南会津方部水害対策協議会(南会津町)、
平成28年度山村教育留学生送別式 |

町民の消息

(1月26日～2月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

佐藤 心来 (女/政利・千恵) 大倉

■ご結婚おめでとうございます

金山町 渡部 博♡入谷 智子 蒲生
福島市 斎藤 広行♡赤塚 玲 只見

■おくやみ申し上げます

梁 取 博 男	51歳	大 倉
小林 春 美	89歳	布 沢
船 木 吉 正	82歳	黒 谷
目 黒 静 子	93歳	坂 田
酒 井 善 八	85歳	黒 谷
矢 澤 ナツ子	87歳	二軒在家
関 根 要 一	81歳	只 見
新 國 秀 一	60歳	只 見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年2月1日現在

人 口 4, 370 (- 8)
男 2, 143 (- 6)
女 2, 227 (- 2)
世帯数 1, 804 (+ 1)
高齢化率 45.00%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 3 出生 0 死亡 9

▽今年の雪まつりは、「熊本復興応援をテーマに開催され、その様子が熊本県内のニュースで取り上げられました。5年前に水害があった福島県只見町では、熊本復興応援をテーマに雪まつりが開催され、熊本城がいち早く復興した姿を披露しました」という内容で放送され、その放送を見た熊本県民の方から雪まつり実行委員会に、「遠い福島の地で、熊本の応援が行われているニュースを見て胸が熱くなりました」という御礼のメールが届きました。熊本復興応援がしっかり届いたと感じる瞬間でした。

(三瓶)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習推進員
山田千春

朝日振興センター
図書室 ☎84-2111

おすすめ新着図書

★文房具のやすみじかん



土橋 正/著

部屋には誰もいないのに、ひそひそ声が聞こえてきます。おしゃべりを始めたのは、いつも使っている文房具たちでした。文房具たちのやすみじかんのはじまりです。

えんぴつは、ノートにのびのび線をひきながら、なぜ書くことができるのかを話します。消しゴムは、えんぴつのいたづらがきをこすりながら、なぜ消えるのかを見せてくれます。色えんぴつ、ボールペン、修正液…子どもたちにとって身近な文房具が、それぞれ「かくこと」「消すこと」について普段、なにげなく使っている小さな道具には、技術と工夫がいっぱい。文房具の原理と工夫を紹介します。

★やり残した、さよならの宿題



小川 晴央/著

小学生の青斗が住む海沿いの田舎町にはひとつの伝説があった。それは、神社にお願いすると、神様がやり直したい過去に“時渡り”させてくれるというもの。青斗は夏の終わりに大好きなこの町を離れてしまう鈴のために最高の夏休みをプレゼントしようとしていた。そんな二人が遊んでいた神社で出会ったのは、何でも見通す不思議な力を持ったお姉さんで…。

時を遡って紡かれる、あたたかくて切ないさよならの物語。

★最後の医者は桜を見上げて君を思う



二宮 敦人/著

あなたの余命は半年です。ある病院で医者は患者にそう告げた。「死」を受け入れ、残りの日々を大切に生きる道もあると説く。だが、もう一人の医者は奇跡を信じ最後まで「生」を諦めない。対立する二人に限られた時間の中で挑む戦いの結末とは？究極の選択を前に、患者たちは何を決断できるのか？衝撃と感動の1冊です。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読みたい本があればぜひ、リクエストしてください。



只見おもしろ学の
答え合わせ!!

19 ページクイズ答え
③秋～冬だよ!!
詳しくはガイドブック
P78～79をみてね!

F+narin

ヒメアオキ

(学名: *Aucuba japonica var. borealis*)

[ガリア科 アオキ属]



▲「雄花」雪解けの頃に花を咲かせる



▲4月～5月頃に赤い果実が見られます

3月になり、次第に暖かくなってきましたが、山はまだ深い雪で覆われています。この雪の下にヒメアオキは埋もれています。ヒメアオキは、只見町のブナ林の林床によく見られる常緑低木です。一年中、光沢のある青々とした葉を繁らせ、また、若い枝の緑色の様子が名前の由来になっています。雪解けの頃、森の中を歩いていると、ヒメアオキの赤く丸い実に気づくことがあるかもしれません。果実は目立つのですが、それと同時期に見られる花は暗紫色の地味な花です。

日本には、冬に雪が少なく、乾燥した太平洋側に分布する「アオキ」と、積雪量の多い日本海側に分布するその変種「ヒメアオキ」が生育しています。アオキは直立し、樹高2～3mになるのに対して、ヒメアオキは1mほどひとまわり小さいです。ヒメアオキの幹の根本は地面を這い、それよりも上の部分は斜めに伸びます。そして冬の間は雪で地面に押しつぶされて春を待ちます。ヒメアオキのように日本海側の多雪地帯を中心に分布する植物を日本海要素植物と呼びます。只見町には、ヒメアオキをはじめとし、ユキツバキ、ミヤマナラ、エゾユズリハなどの日本海要素植物が数多く生育しています。

写真教室

猪又かじ子写真教室

「只見の雪を記録しよう～写真による自然観察会」

日 時：3月4日(土) 9:00～14:00

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム周辺

観察会

「冬のブナ林で野鳥を探そう！」

日 時：3月19日(日) 10:00～12:00

場 所：ただみ観察の森 楢戸のブナ二次林

※参加には申し込みが必要です。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

雪まつり大雪像のキャンドルナイト

雪まつり開催から1週間後の2月18日、雪まつりの大雪像をキャンドルで彩る「キャンドルナイト」が行われました。イベントでは、参加者により午後3時頃から大雪像に多くのキャンドルが設置され、夕暮れとともにキャンドルに灯された幻想的な熊本城の姿が現れ、会場では写真を収める姿が多く見られました。

